




# 久留米市セーフコミュニティ 全体概要説明



福岡県久留米市 協働推進部安全安心推進課  
セーフコミュニティ主幹 柳 秀昭



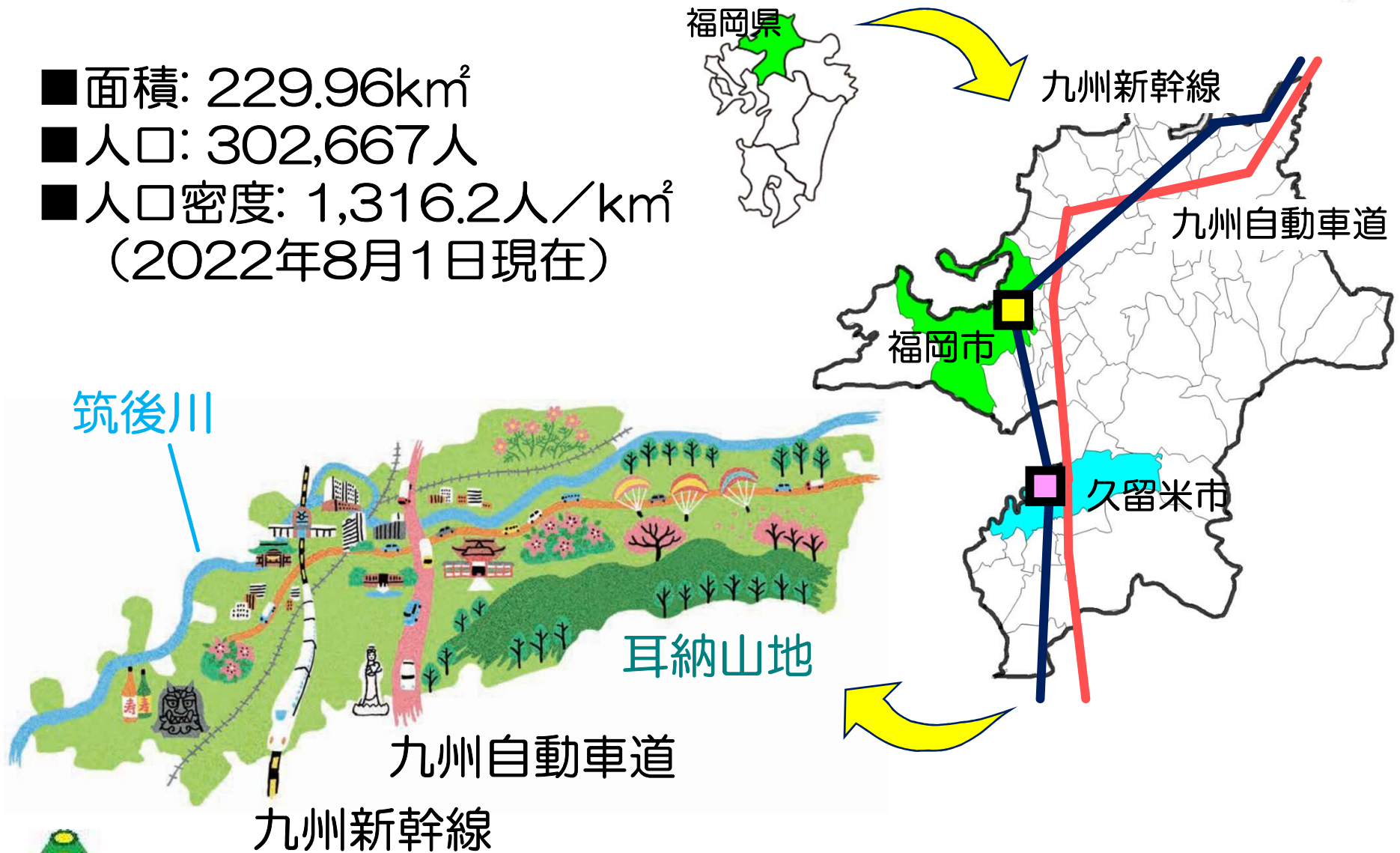
# 1 久留米市の概要



# 1-1.地勢



- 面積: 229.96km<sup>2</sup>
- 人口: 302,667人
- 人口密度: 1,316.2人/km<sup>2</sup>  
(2022年8月1日現在)





## 2 セーフコミュニティの歩み





### 社会環境の変化

- ◆ 地方分権・地域主権の進展
- ◆ 市民ニーズの多様化・高度化
- ◆ 市民活動の活発化



- 市民の参加・参画をさらに促進するため・・
- 地域の課題や市民 ニーズに的確に対応し、地域の実情にあったまちづくりを進めるため・・

これからは「協働のまちづくり」が重要



## 2-2.セーフコミュニティに取り組むに至った背景



### 地域の課題

- ◆人口減少と人口構造変化
- ◆事故、犯罪・暴力事件への不安
- ◆コミュニティ意識の変容
- ◆大規模災害への不安

### 安全・安心な市民生活の確保

- 安全で安心な暮らしは市民共通の願い
- 実現に向けて行政をはじめ  
市民や様々な団体の連携が必要

協働の  
まちづくり

### セーフコミュニティ



## 2-3.これまでの主な経過



時 期	内 容
2011年7月	セーフコミュニティ取組宣言
2011年11月	セーフコミュニティ推進協議会設置
2012年3月～8月	8つの対策委員会、外傷等動向調査委員会を順次設置
2012年10月	認証事前指導
2013年8月	認証現地審査
2013年12月	セーフコミュニティ認証取得、式典開催
◇ ◇ ◇ 取組の推進 ◇ ◇ ◇	
2017年2月～4月	各対策委員会の取組効果と課題の確認、具体的施策の変更
2017年10月	再認証事前指導
2018年7月	再認証現地審査
2018年12月	セーフコミュニティ再認証取得、式典開催





# 3 7つの指標に基づく取組

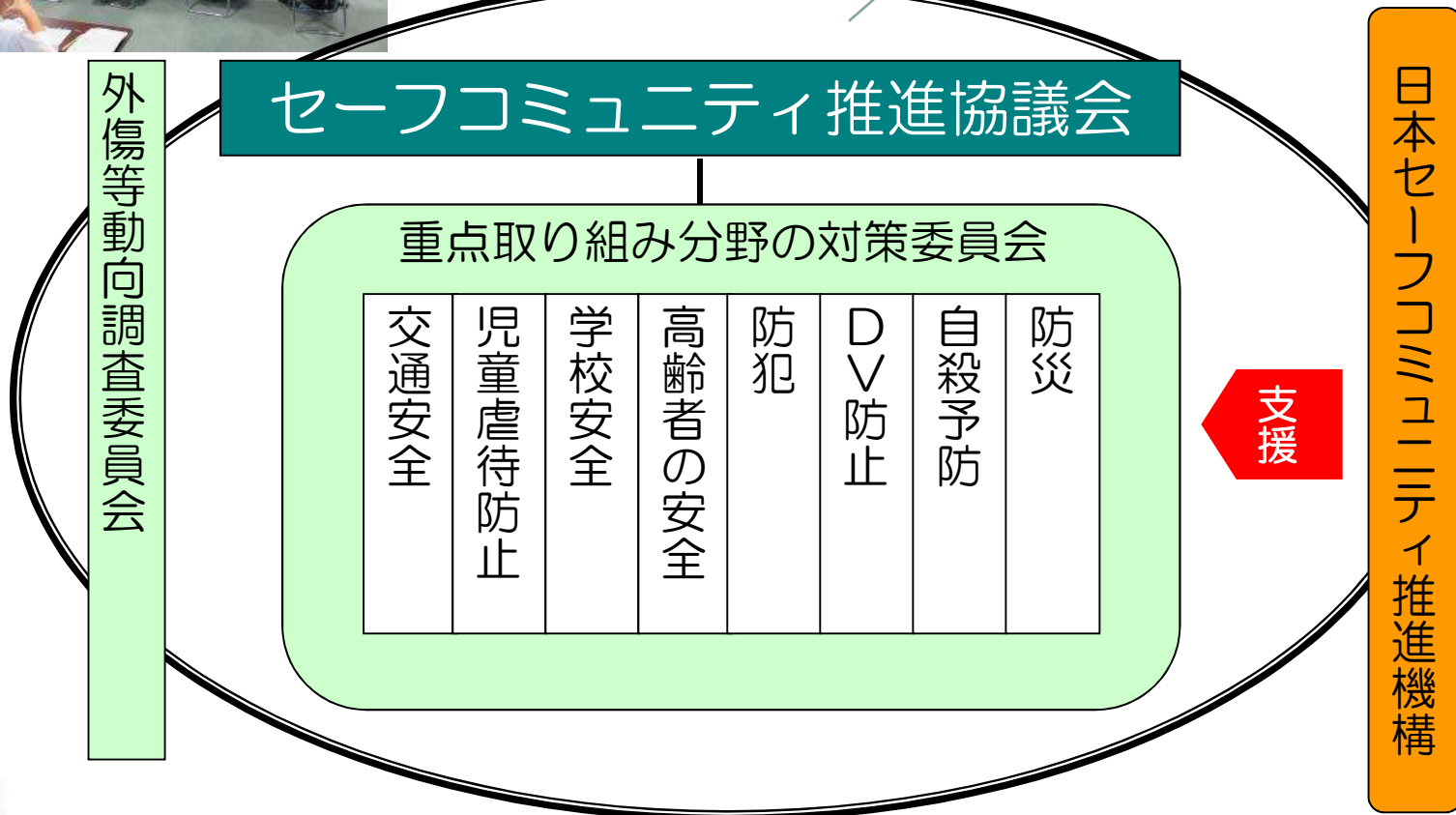




# 3-1.指標1 分野の垣根を越えた協働による推進組織



2011年11月設置  
会長：久留米市長  
委員：57団体58名



### 3-5.指標4 あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み



地域診断の結果	重点取組分野
<p>◆ 市内の交通事故発生件数(人口10万人あたり)は、福岡県、全国と比較して高い。</p>	交通安全
<p>警察統計、交通安全対策委員会プレゼン資料2頁参照</p>	
<p>◆ 市内における自転車事故発生件数(人口10万人あたり)は、福岡県と比較して高い。</p>	子どもの安全
<p>警察統計、交通安全対策委員会プレゼン資料24頁参照</p>	
<p>◆ 虐待を含む児童相談件数は増加している。</p>	
<p>家庭子ども相談課統計、児童虐待防止対策委員会プレゼン資料2頁参照</p>	
<p>◆ 「子ども(小学生以下)を虐待しているのではないかと思うことがある」と回答した保護者が2割以上いる。</p>	
<p>2008年 久留米市次世代育成支援に関するニーズ調査</p>	
<p>◆ 子どもが自宅以外でけがをした状況では、学校(屋外及び屋内)でのけがが11.8%と比較的多い。</p>	
<p>2011年 久留米市民のけがや事故などについての実態調査</p>	



### 3-6.指標4 あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み



地域診断の結果	重点取組分野
<p>◆ 高齢者の半数以上は、転倒に不安を感じており、高齢者のケガの原因は、転倒によるもの(57.8%)が最も多い。</p>	<p>高齢者の安全</p>
<p>2011年 久留米市民のけがや事故などについての実態調査 高齢者の安全対策委員会プレゼン資料2頁参照</p>	
<p>◆ 高齢者虐待相談・通報件数は、増減はあるものの増加の兆しを見せている。</p>	
<p>長寿支援課統計</p>	
<p>◆ 被虐待者は認知症高齢者が多く、虐待事例の多くが同居の親族によるものである。</p>	
<p>長寿支援課統計 高齢者の安全対策委員会プレゼン資料1 2頁参照</p>	



## 3-7.指標4 あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み



地域診断の結果	重点取組分野
<p>◆ 人口10万人当たり刑法犯認知件数は、全国、福岡県と比較して高い。</p> <p>警察統計 防犯対策委員会プレゼン資料2頁参照</p>	<p>犯罪・暴力の予防</p>
<p>◆ 女性からの相談の中でドメスティック・バイオレンス(DV)に関する相談の割合が高い。</p> <p>男女平等推進センター統計</p>	
<p>◆ パートナーから何らかの暴力を受けたことがある女性は、国が約3割に対し、久留米市は約半数である。</p> <p>2009年 年久留米市 男女平等に関する意識調査 DV防止対策委員会プレゼン資料2頁参照</p>	



## 3-8.指標4 あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み



地域診断の結果	重点取組分野
<p>◆ 病気を除いた死亡原因では、自殺が最も多い。</p>	自殺予防
<p>人口動態統計 外傷等動向調査委員会プレゼン資料18頁参照</p>	
<p>◆ 人口10万人当たりの自殺者数を示す自殺率は、国、県と比較して高い。</p>	防災
<p>人口動態統計</p>	
<p>◆ 自然災害(地震・台風)に対して、約8割の市民が不安を感じている。</p>	
<p>2011年 久留米市民意識調査 外傷等動向調査委員会プレゼン資料21頁参照</p>	防災
<p>◆ 市民の半数近くが災害への対策を行っていない。</p>	
<p>2011年 久留米市民意識調査 防災対策委員会プレゼン資料6頁参照</p>	





## 4 セーフコミュニティの啓発活動

- セーフコミュニティは重点分野だけではない。
- セーフコミュニティの考え方が、広く市民に浸透することが大切
- 啓発に力を入れる必要がある。

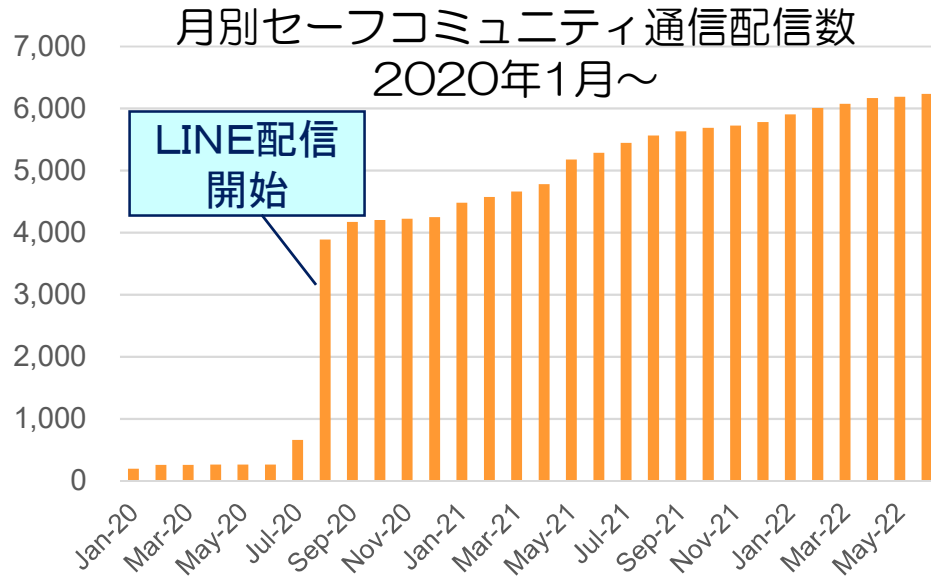




# 4-2.セーフコミュニティの啓発活動



## 月刊セーフコミュニティ通信 2015年8月～



2022年4月号

HP掲載に加え、メール等で直接配信

データを示した啓発  
2022年4月号では、小学1年生の事故の特徴を示し、ドライバーに注意を呼びかけた。

「横断中」の事故が多い  
【小学生】歩行中の事故種別別死者・重傷者数 (総数: 過去5年)

種別	人数	割合
横断中	87人	85%
路上法面中	13人	13%
歩道通行中	1人	1%
交差点通行中	4人	4%
横断中その他	6人	6%
計	104人	

【小学生】歩行中の事故種別別死者・重傷者数 (総数: 過去5年)

【小学生】歩行中の交通事故発生者数 (総数: 過去5年)

【発生時間帯】小学1年生の歩行中の交通事故発生者数 (総数: 過去5年)

小学1年生は、「登校・下校・放課後」の時間帯に事故が多い  
半数以上が15時台～17時台

子どもたちの安全を守るため、校区ごとに、保護者や地域の方が見守り活動をされています。  
運転者の皆さんも、子どもたちを見守る気持ちで運転しましょう。

発行元 久留米市セーフコミュニティ推進協議会  
(事務局: 久留米市協働推進部 安全安心推進課)  
〒830-8520 久留米市福岡町 15-3  
TEL: 0942-30-9004 FAX: 0942-30-9705  
E-mail: arzen@city.kumame.jp

久留米市セーフコミュニティでは、重点取組の一つとして「交通安全」に取り組んでいます。







# 5 これまで取り組みの成果



# 5-2.これまでの取り組みの成果

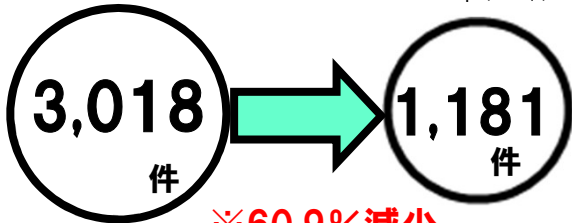


## 重点取組分野に関連するデータの推移①

### 交通安全

【交通事故件数】

2011年(H23年)      2021年(R3年)



出典:警察統計

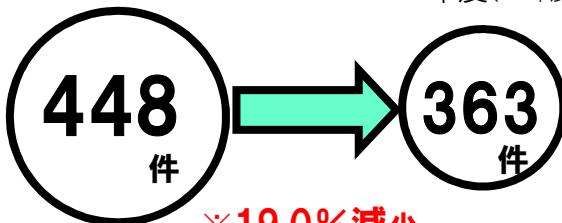


まろり米久富米

### 子どもの安全

【18歳以下の外因による救急搬送件数】

2011年度(H23年度)      2021年度(R3年度)



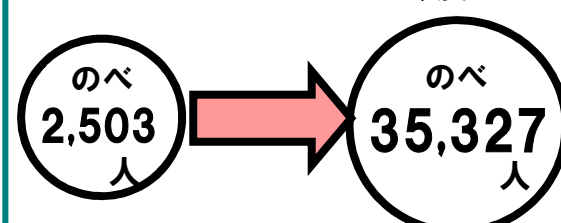
出典:救急搬送データ



### 高齢者の安全

【認知症サポーター養成講座受講者数】

2011年度(H23年度)      2021年度(R3年度)



出典:長寿支援課統計



# 5-3.これまでの取り組みの成果



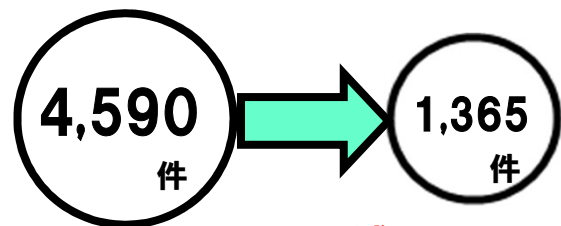
## 重点取組分野に関連するデータの推移②

### 犯罪・暴力の予防

【一般刑法犯の認知件数】

2011年(平成23年)

2021年(R3年)



※70.3%減少

出典:警察統計

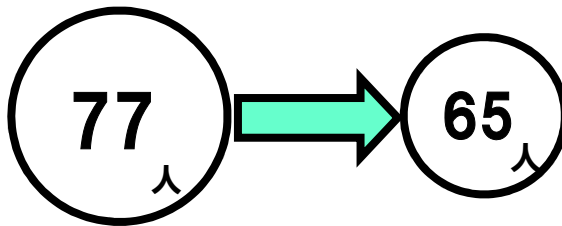


### 自殺予防

【自殺者数】

2011年(H23年)

2020年(R2年)



出典:人口動態統計

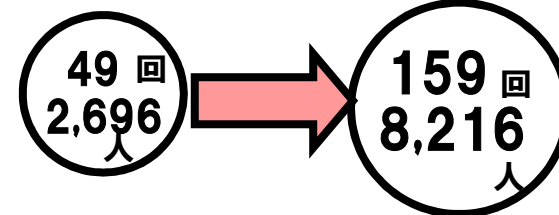


### 防災

【自主防災訓練の回数・参加者数】

2011年度(H23年度)

2019年度(R1年度)



※3.0倍に増加(参加者数)

2020年度以降は、コロナ禍により、実施回数が減少

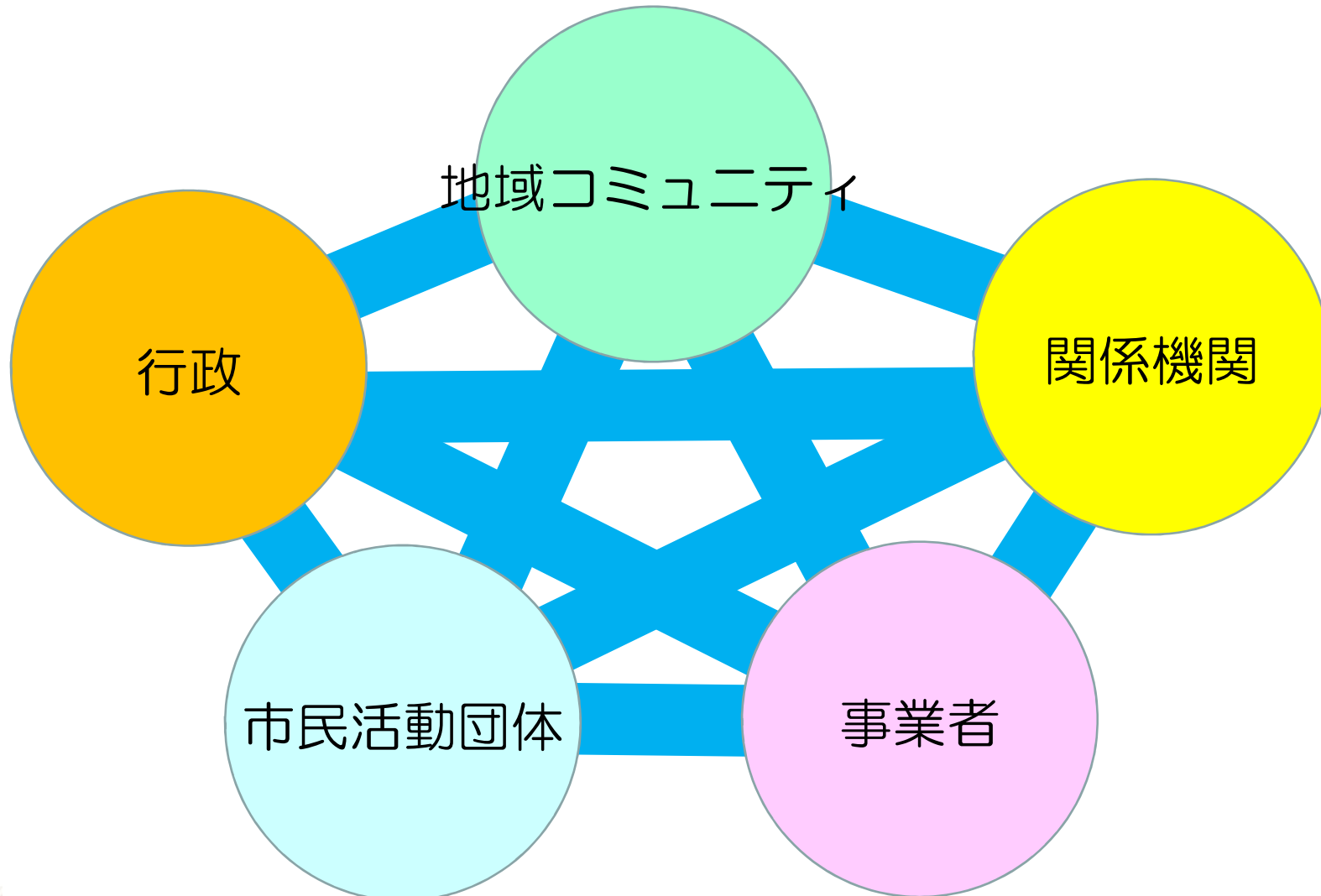
出典:防災対策課統計



## 5-4.これまでの取り組みの成果



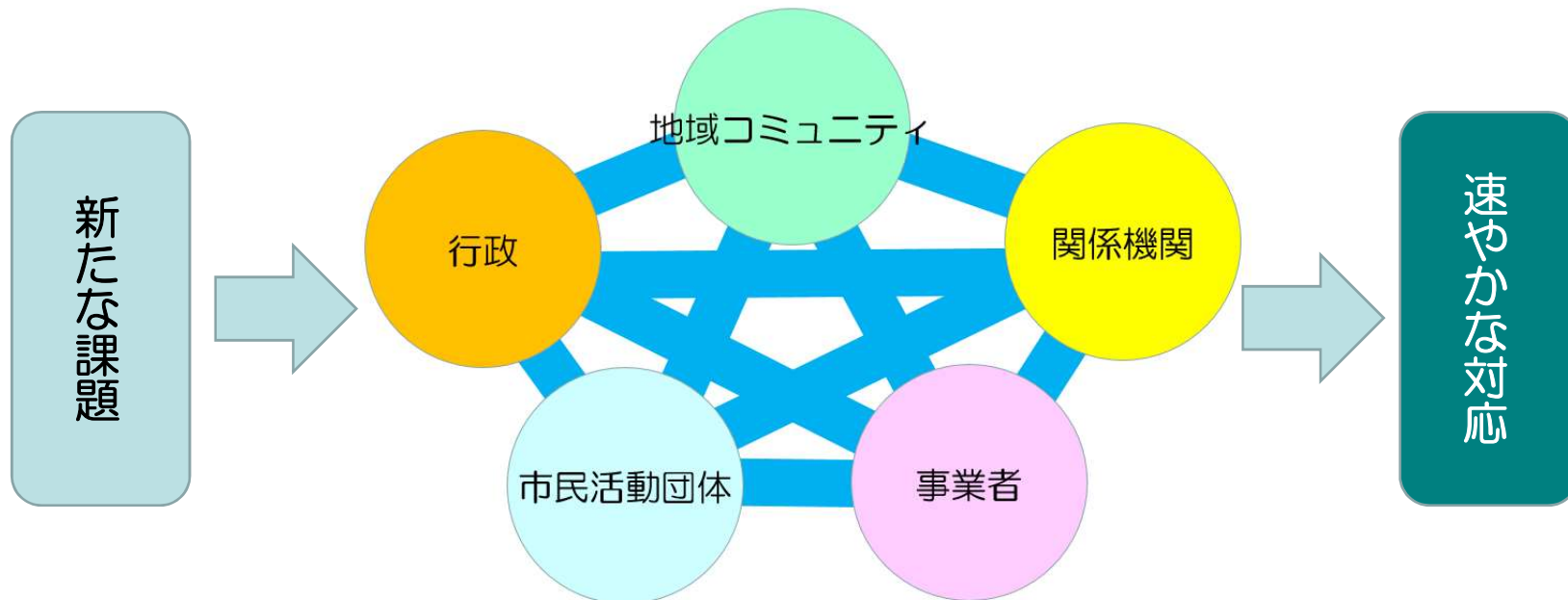
### 「協働」の見える化



## 5-5.これまでの取り組みの成果



### 「協働」を基盤とした新たな課題への対応



例えば・・・

新たな犯罪である「二重電話詐欺」に対して、警察、市、地域が連携し、青パトを活用した注意喚起を行う体制を速やかに構築

セーフコミュニティの重点取組以外でも・・・

医療機関と連携した新型コロナウイルス感染症予防接種の速やかな実施

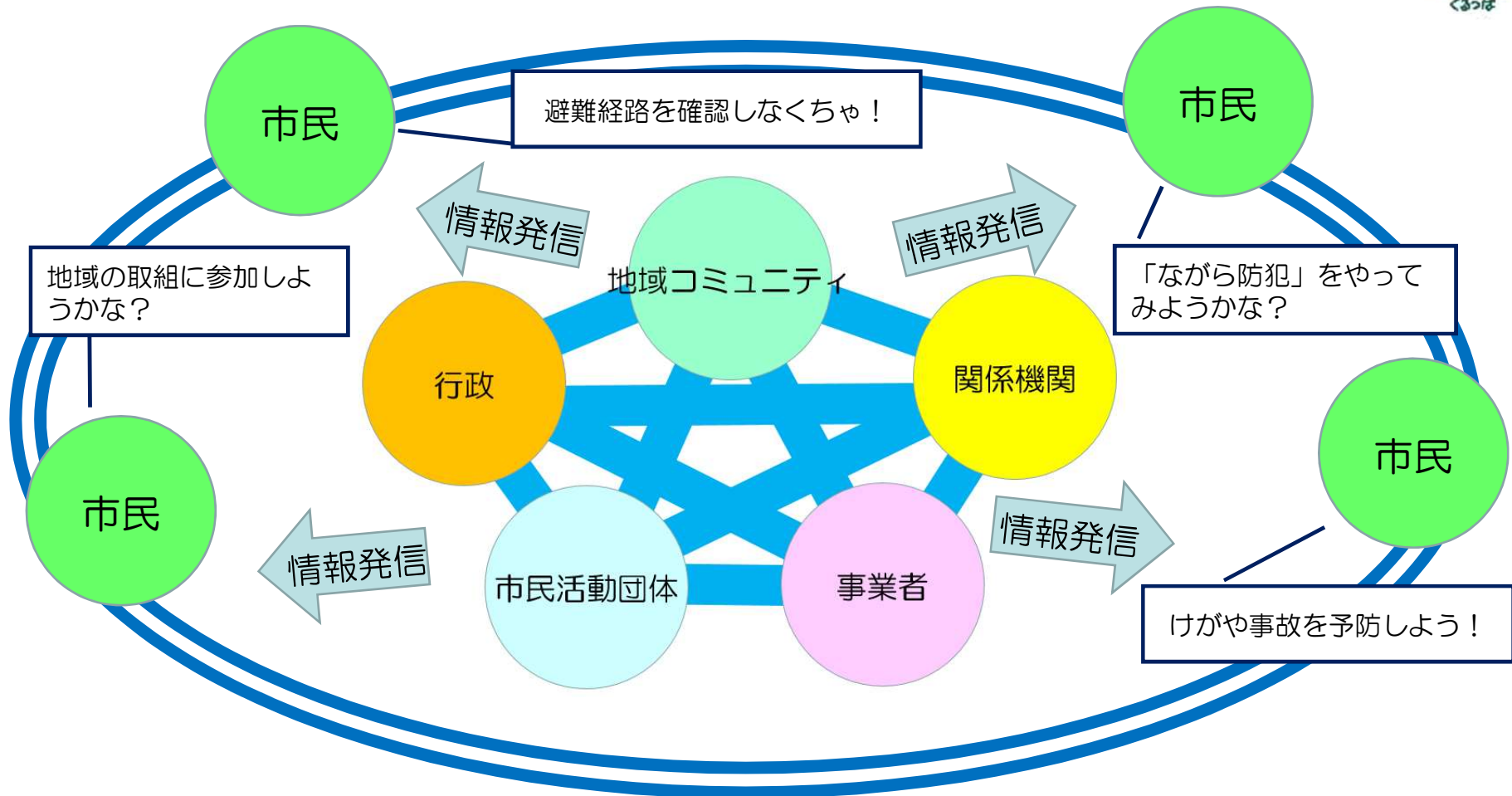




# 6 これからの課題



# 6-1.これからの課題



もっと安全で安心な久留米をめざして、  
広げよう、「協働」の輪！



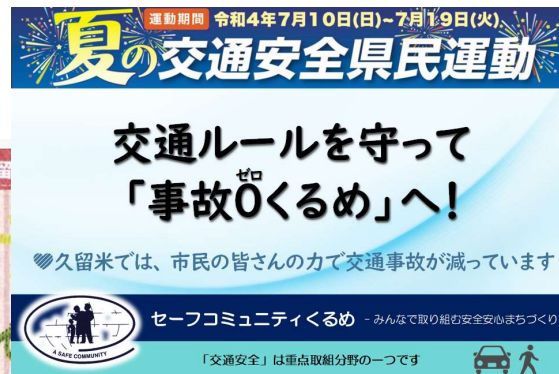
# 6-2.これからの課題



## セーフコミュニティの見える化の充実

これまでの成果である、「協働の見える化」と、「安全安心に関するデータの見える化」をもっと活かす工夫が必要。

- ◆ 市民参加型のSNSの活用
- ◆ 久留米市が持つ媒体に限らず、地域や関係機関の情報媒体やイベントの活用
- ◆ 地域コミュニティや事業者団体などへの呼びかけ など





## 6-3.これからの課題

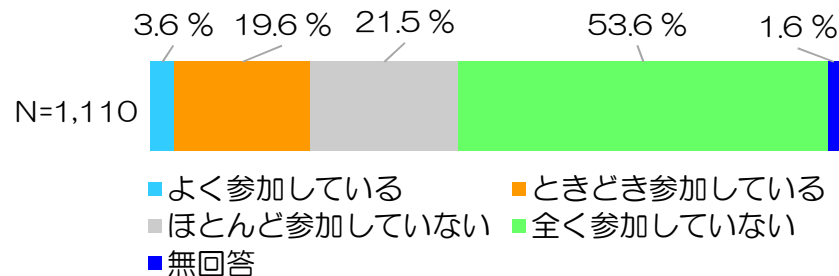


### 市民参画の拡大

もっと安全で安心な久留米を目指し、協働の輪を広げるため、市民参加を拡大するための工夫が必要。

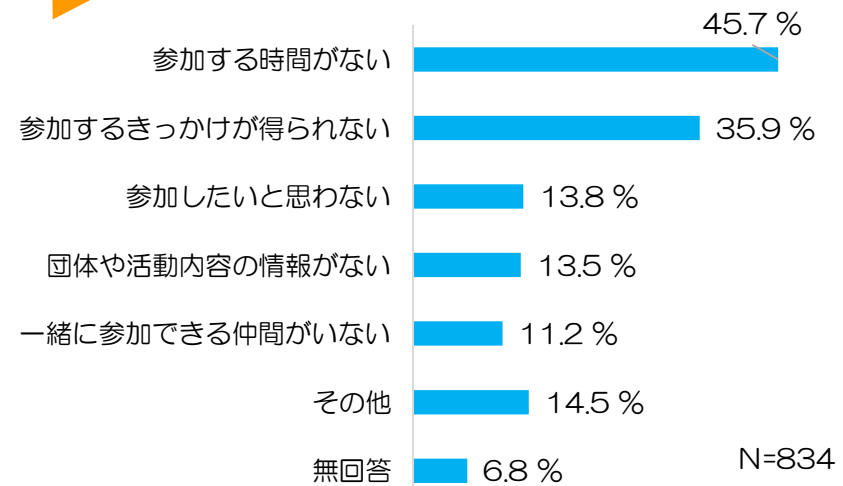
- ◆ 「短時間でできる活動」や、「ながら活動」の周知
- ◆ 地域の安全安心活動の体験プログラムの実施 など

Q：あなたは地域の防犯活動に参加していますか？



「全く参加していない」 = 53.6%  
「ほとんど参加していない」 = 21.5%

Q：参加していない理由は何ですか？



2021年セーフコミュニティ実態調査





# みんなで取り組む安全安心まちづくり



久留米市イメージキャラクター  
「くるっぱ」

ご清聴ありがとうございました。

